

平成30年度第1回自立支援協議会要旨録

日時	平成30年5月23日(水) 10:00~12:00
場所	美竹の丘・しぶや2階 会議室A
出席者	<p><委員> 15人 高橋会長 本田副会長 浦野委員 大日方委員 堀口委員 栗野委員 瀬古委員 青木委員 中島委員 須藤委員 大和田委員 坂本委員 原委員 野崎委員 三宅委員</p> <p><事務局> 17人 福祉部：福祉部長 障害者福祉課長 福祉計画推進係長 身体障害者福祉主査 知的障害者福祉主査 福祉計画推進係員4人 健康推進部：健康推進部長 地域保健課長 地域医療係長 地域医療係員1人 保健指導主査 2人 子ども家庭部：子ども総合支援センター長 子ども発達相談センター所長</p>
傍聴者数	9人
議事内容	
<p>1 障害福祉推進計画の策定と進捗管理について</p> <p>事務局が、障害福祉推進計画の策定報告と今後の進捗管理について説明。(資料1については、参考配付)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画書に基づき、全体の構成やポイント等を確認。 ・資料2「進捗管理総括表・進捗管理個別シート」に基づき、計画の進行管理と評価方法について説明。今後は、施策の実施状況について、シートにとりまとめて、協議会のたびに報告する。 <p>福祉計画部会から、進捗管理における部会の役割について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉計画部会は、計画の作成段階から関わり、施策やニーズの分析等を行い、特に取り組みが必要なことについて計画に反映させてきた。今後は、引き続き計画の評価・点検や見直しが必要な施策について検討する役割を担っていく。 ・資料2については、協議会での報告後に部会で検討を行うと、検討結果の報告をするのが遅れてしまう。事前に福祉計画部会に進捗状況についてデータを提供してもらい、部会での検討結果を協議会に報告する流れとしたい。 ・今回の計画を立てる時は、進捗状況等のデータがない状態から議論をしていた。今後は進捗管理票を更新していくことで、進んだ施策や不足しているサービスなどを整理することができるので、次期計画策定の際はスムーズに施策の議論ができる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【主な質疑・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料2について、区が実施した施策を羅列するだけでなく、進んでいないことや、新たに明らかになったニーズを把握できる欄を設けてはどうか。 ・年4回の協議会だけでは、課題の対応に追いつけないので、専門部会の活動をもっと活発にすると良い。 </div>	

2 協議会の年間テーマと活動計画について

事務局が、資料3に沿って協議会全体の共通テーマと専門部会での取扱い、年間スケジュールについて説明。

- 今年度は新たな取組みとして、全体会と専門部会の共通テーマを設定し、それぞれの専門部会において共通テーマについて検討する機会を設けて、協議結果を全体会で共有していく。
- 共通テーマは、障害福祉推進計画の基本目標の一つである「切れ目のない支援とネットワーク」とする。各専門部会において、「切れ目」を具体化し、対応策について検討し、一定のアウトプット（成果物の作成）を目指したい。
- もう一つの新たな取組みとして、協議会委員を対象に施設見学会を実施する。日程は8月8日（水）13時から。見学場所等の詳細は、別途改めて各委員あてに通知する。

【主な質疑・意見】

- 今後は、個別の事例を通じて、だれのどのような切れ目に対して支援が必要なのかを、より具体的に掘り下げていく必要がある。
- 子育ての環境が激変する中で、支援や相談につながらない人や家族がいる。そういう切れ目を掘り起こすことも課題の一つ。
- 8月の施設見学では、災害時の避難方法などの視点も盛り込んでほしい。

3 各専門部会の活動予定について

(1) 相談支援部会

部会長が、資料4に基づき説明。

- 今年度は、課題2で示された共通テーマを部会でも検討していく。相談支援事業所連絡会などを通じて、相談支援の現場での切れ目や課題を収集し、協議会へ報告する。
- 共通テーマ以外では、基幹相談支援センターの仕組みづくりにも協力していく。具体的には、区内の相談支援事業所の役割や共通ルール等をまとめた相談支援ガイドラインを作成していく。
- 今年度も引き続き精神分科会や高齢障害ネットワークを開催し、情報共有や関係機関とのネットワークの構築、資質向上を目指す。

(2) 就労支援部会

部会長が、資料5に基づき説明。

- 一般就労グループは、今年度も継続して区役所内実習行う。新庁舎への移転があるため実習期間を延長し、回数を減らして実施する予定。実習は体験コースと実践コースを設けて行う。体験コースから実践コースへ移行する参加者も出ており、今後はステップアップをフォローする体制を整えていく必要がある。この他にも雇用支援月間の取組みの拡大や、新庁舎移転後の区役所臨時職員の雇用について、障害者福祉課と協議していく予定。

- ・福祉就労グループは、「障害者福祉と高齢者福祉の連携」をテーマに掲げ、今年度も引き続き高齢・障害ネットワーク会議を実施する。また、今年度は「切れ目のない支援」のための具体的な取組みとして、新たに児童福祉との連携を目指し、就職前の学齢期の支援者とのネットワークの構築を目指す。

(3) 子ども部会

部会長が、資料6に基づき説明。

- ・子ども部会は、今年度から立上げのため、メンバー選定など組織づくりから着手している。「切れ目のない支援」に関しては、教育・保育・医療保健とも連携し、ライフステージの（年齢に応じた）切れ目について、縦と横の視点をもちながら、現状把握と具体的な課題の検討を実施していきたい。

4 その他

(1) 委員からの情報提供について

堀口委員からの情報提供

- ・研修会等のお知らせ
 - ▷ 東京都育成会大会講演会 7月13日（金）13時～15時 なかのZERO 「医療と福祉の連携～より良い支援を目指して～」
 - ▷ 福祉講座 9月28日（金）10時～11時50分 せせらぎ会議室
- ・東京都発行「『心のバリアフリー』の実践に向けたハンドブック」の紹介。
- ・障害理解啓発活動として、キャラバン隊の活動を開始する予定。

本田委員からの情報提供

- ・心身障害者医療費助成制度について、平成31年1月から、精神障害者保健福祉手帳1級所持者が助成対象となる。申請受付は、平成30年11月からの予定。

(2) 基幹相談支援センターの準備経過について

事務局が、平成30年4月から、渋谷区社会福祉協議会に基幹相談支援センターの開設準備業務を委託したことを報告。同協議会が、これまで区内で、身体・知的・精神の障害者相談支援に携わってきた実績を踏まえた委託。

基幹相談支援センター準備室長の瀬古委員が、準備経過について資料7に基づき説明。

(3) 次回の日程について

平成30年8月29日（水）10：00～ 美竹の丘・しぶや 会議室A

5 各部会でのグループミーティング

4つの専門部会に分かれて自己紹介を行い、今年度の進め方について確認。

— 閉 会（12：00） —